過疎・高齢化がもたらす諸問題について

中山間地域を主として人口急減
超高齢化に向かう日本
人口8000万人、高齢化率40%時代も間近

日本の安全・安心な生活、豊かさを様々な形で支えてきた中山間地域の機能が消滅
将来につなぐべき日本人の生き方や価値観にも大きく影響

対策は、まさに待ったなし！！

中山間地域の現状

中山間地域の価値・機能

国土の約50%を占め、わが国の生活、産業を支える地域

○衰退しつつも農業産出額や耕地面積は約4割
○成熟し、収穫期を迎えた森林資源を保有
○漁業を支えてきた漁村の営み
○日本の伝統文化や価値観の基層を形成

今、中山間地域の機能が消滅の危機

●日本の貴重な資源である森林や田畑の荒廃、放棄が進む

■基幹産業の衰退、担い手の減少

＜過疎地域における第1次産業従事者の推移＞（20年間）

区分	H2(千戸)	H22(千戸)	減少率(%)
農業者	1,204	786	△34．7
林業者	554	462	△16．6
漁業者	97	57	△41．2

出典：総務省「過疎対策の現況【H24年度版】」

■耕作放棄地、荒れた山林の増大

【中山間地域の耕作放棄地面積】
・全体の53．8%
・10年間で、7．6万ha増加
13．2万ha(H7)→20．8万ha(H17)

出典：農林水産省「耕作放棄地の現状について」

●日本人の技、知恵、心の拠り所が消滅の危機

■長年、培われてきた伝統文化・原風景、心の豊かさ、価値観などが後世に引き継げない
例・・・高知県梼原町津野山神楽は、千年の歴史
（国の重要無形文化財）

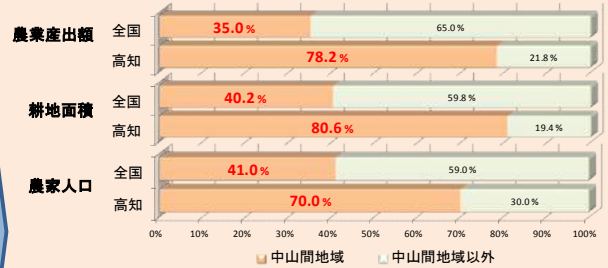
都市部が持つ諸問題

中山間地域が消滅すれば都市も生き残れない

例えば

●安全安心で豊かな食材等の提供がストップ

・中山間地域の農業等の衰退により、国民の食文化・生活に大きく影響

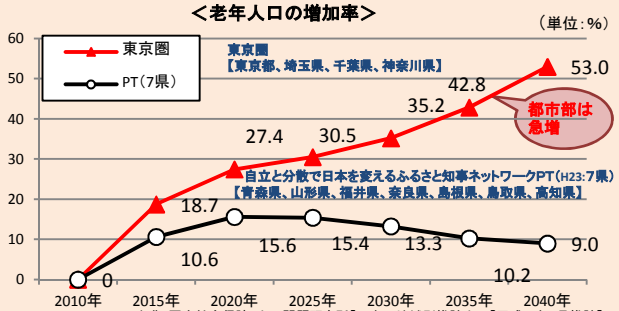


出典：農林水産省「生産農業所得統計」、「耕地及び作付面積統計」、「農林業センサス」

●高齢者や若者の受け皿への対応

・今後、急増する都市部の高齢者の受け皿がなくなる

＜老年人口の増加率＞



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別推計人口【平成25年3月推計】」

・若者等が幅広く活躍できる場が広がらない

都市住民の農山漁村への移住願望
・全体の31．6%が願望（H17に比べ 11%アップ）
20歳代が、38．7%で最大

出典：内閣府「農山漁村に関する世論調査」

対 応 策

①都市部と中山間地域の共生

個性を活かした
地域経済の好循環を実現

○中山間地域の農業が都市を支える
・複合経営（高収益の施設園芸、6次産業化など）による攻めの農業の推進
・安全・安心で美味しい農産物の生産、供給（食料基地）
・都市住民の受け皿の確保（就農の場の創出）
・農地、農村の多面的機能の維持・発揮
（水源かん養、洪水防止等）
相乗

○都市の森が山の森を創る
・都市の木造化（CLT建築）の推進
循環
・山の森を再生（木材需要の拡大）

＋

②地域コミュニティーの維持、再生

住民力を生かした
「小さな拠点づくり」

○暮らしを守る（支え合い活動）
○未来を拓く（産業をつくる）

・「小さいからできない」ではなく、「小さいからこそ」できる仕組み
・「あるもの」を生かした低コストの仕組み
・地域の課題やニーズに応じた継続的な仕組み
・それぞれの地域で若者が誇りと志を持って働ける仕組み

中山間地域に若者を残せる地域創生が必要

高知県における「小さな拠点」の取り組みについて

小さな拠点（集落活動センター）の設置

具体的な取り組み

集落活動センターの概要

活動のイメージ